

1 感染症対策

法に規定されている感染症の患者が発生した場合、患者が適切な医療を受けられるように支援するとともに、まん延防止のための調査を実施し、二次感染防止のための検診及び指導を行う。

(1) 感染症患者発生数等

二類(平成23年中)	新登録患者数 (潜在性結核感染症患者28人含む)	年末現在結核登録者総数 (潜在性結核感染症患者24人含む)
結核	62	103

三類(平成23年中)		患者数	保菌者数	計
腸管出血性 大腸菌感染症	管内	7	2	9
	三重県※	31	19	50

(2) 結核対策

結核登録患者は減少しているものの減少率は鈍化しているため、発病した者が治療完遂できるよう支援することが重要である。また一般住民はもとより医療・福祉関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期治療の徹底を図る。

① 定期健康診断実施状況(平成23年度)

一般住民はもとより医療関係者等への啓発に努め、学校、職場等での集団発生を防止し、結核患者の早期治療の徹底を図る。

	BCG	間接撮影	直接撮影	喀痰検査	発病のおそれ有り	結核患者
事業者	0	2,691	5,844	0	0	0
学校長	0	1,791	33	0	0	1
施設の長	0	439	911	0	0	0
一般住民	1,663	3,158	8,925	0	0	0

② 結核患者・家族指導(平成23年度)

結核患者が適切な医療を受け、確実に治癒することを支援すること、及び家族や接触者の感染・発病の早期発見のための接触者健診等の指導を行う。

種別	延件数
家庭訪問	251
所内面接	19
電話相談	288

③ 接触者健康診断実施状況（平成23年度）

結核患者家族及び管理・定期外の検診を実施し、結核患者の早期発見に努める。

区分	検診通知	受診数	X線直接撮影	QFT	ツ反応検査	BCG	喀痰	発見患者数	要注意者数
患者家族	87	87	87	30	0	0	0	1	3
接触者	79	79	79	34	0	0	0	2	5
管理検診	0	14	14	0	0	0	0	0	0
合計	166	180	180	64	0	0	0	3	8

④ 結核登録患者状況（平成23年中）

	23年末現在登録者数	活動性全結核患者数	有病率	新登録数	罹患率
松阪市	55	17	10.0	27	15.9
多気町	11	2	13.0	2	13.0
明和町	8	2	8.8	2	8.8
大台町	5	3	29.1	3	29.1
管内計	79	24	11.0	34	15.5
三重県	632	148	8.0	281	15.2

* 有病率：年末活動性結核患者数÷人口×10万

* 罹患率：人口10万人あたりの新登録結核患者数

⑤ 結核医療事業

感染症診査会を開催し申請された医療の適正に努める。

感染症法第37条の2関係（平成23年度）

区分	被用者保険		国保	後期高齢者	生保	その他	合計
	本人	家族					
申請	23	1	21	18	4	6	73
合格	23	1	21	18	4	6	73
承認	23	1	21	18	4	6	73

感染症法第37条関係（平成23年中）

平成22年 12月末現在	新規数	解除数	平成23年 12月末現在
2	14	13	3

⑥ 結核健康診断補助金

結核患者の早期発見と患者発生防止を図るため、学校、又は施設の長が行う定期の健康診断に要する費用の一部を補助金として交付する事で、設置者の負担を軽減し、定期健康診断の実施を促進する。

	学校長		社会福祉施設	合計
	専門学校	高校		
施設数	2	1	19	22
検診人員	76	548	914	1,538

⑦ 結核対策特別促進事業

治療脱落例・治療失敗例をなくすため、直接服薬確認（DOTS）事業を推進した。

- ・DOTSカンファレンスに参加し、9名の患者の支援について検討を行い、事業に生かした。
- ・DOTSは48名（延べ251名）に実施し、確実な服薬の支援を行った。

(3) 感染症発生動向調査事業

① インフルエンザ施設別（学校等における集団かぜ）発生状況動向調査

インフルエンザ流行時の小中学校での患者発生情報、各機関との連携措置、予防接種との関係等予防対策を図る。

インフルエンザによる休校（園）・学年閉鎖・学級閉鎖件数

	休校（園）	学年閉鎖	学級閉鎖
松阪市	2	37	86
多気町	0	5	5
明和町	0	8	18
大台町	1	5	0
合計	3	55	109

② 三重県感染症発生動向調査事業

感染症の予防、まん延を防止することを目的に、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づくこの調査を実施することで、感染症の発生情報の正確な把握と分析をし、その結果を県民や医療機関への確かな情報提供・公開を行う。

感染症サーベイランス定点医療機関（管内）

16 定点：小児科5、眼科1、インフルエンザ8、STD1、基幹1

③ 三重県感染症発生動向調査事業病原体検査

三重県感染症発生動向調査事業の一環として、病原体検査定点医療機関等から病原体の検査依頼があった場合、保健環境研究所にて検査を実施することで、流行状況の早期発見、早期治療に資するとともに、疾病の予防や診断等に役立つ情報を提供・公開を行う。

病原体検査数と内訳

区 分	件数	結果（陰性）	結果（陽性）
麻しん	1	1	0
日本紅斑熱・ツツガムシ病等	1	0	1
計	2	1	1

(4) 特定感染症検査事業

特定感染症（H I V感染症・性感染症・B型肝炎・C型肝炎）の相談・検査を実施することにより県民の健康不安を解消し、もって特定感染症の蔓延を防止することを目的とする。

区分	H I V			肝 炎			
	来所相談	電話相談	検査	来所相談	電話相談	検査 (B型肝炎)	検査 (C型肝炎)
件数	54	61	50	97	9	48	49

(5) エイズの予防、啓発

エイズに関する正しい知識の普及等、HIV 検査普及週間、世界エイズデーなどにあわせて、広く一般に啓発していく。

ア HIV 検査普及週間

平成23年6月5日(日) 歯の健康まつりにて啓発

イ エイズデー三重街頭キャンペーン

「世界エイズデー」に際し、エイズの現状を正しく認識し、住民に対する正しい知識の普及・啓発を図る。(街頭キャンペーン)

実施年月日 : 平成23年12月1日

実施場所 : 松阪駅構内

ウ 高校の文化祭の一つのブースでエイズ予防啓発活動を実施

平成23年11月5日(土) 松阪工業高等学校

平成23年11月11日(金) 飯南高等学校

(6) 感染症危機管理対策

感染症による死亡者や重傷者の発生をできる限り減らすこと及びそのために必要な医療を確保することを目的として関係機関と連携して対応できるよう、感染症危機管理ネットワーク会議等関係会議の開催をした。

- ・ 感染症危機管理ネットワーク会議 1回

(7) 肝炎治療特別推進事業

B型ウイルス性肝炎及びC型ウイルス性肝炎の根治を目的として行うインターフェロン治療並びにB型ウイルス性肝炎に対して行われる核酸アナログ製剤治療にかかる医療費を助成する。

管内対象者数(平成23年度末現在) : インターフェロン治療 18名
核酸アナログ製剤治療 52名

2 難病対策

(1) 難病在宅ケア事業

管内特定疾患患者の在宅ケアを支援するため、地域における保健・医療・福祉を包括した支援体制づくりをめざす。

- ① 個別ケアの必要なケースに対して地域社会資源の活用・連携をはかり、必要なサービスのコーディネートを行う。

ア 訪問指導	訪問件数	43件
イ 電話相談	相談件数	616件
ウ 特定疾患医療受給申請時等	面接件数	34件

- ② 在宅療養支援計画策定・評価事業

要支援患者に対し、個々の実態に応じて、在宅療養支援計画を作成し、適切なサービスの提供と評価を行い、関係機関等と相互に連携し、支援体制の整備を図る。

《平成23年度：災害時の支援体制の整備》

災害時要援護者リストの登録支援

平成21年度実施した災害時支援の調査結果で、市町の災害時要援護者リストへの登録を希望した対象者について、体制の整っていない一部の市町で登録ができていなかった。

23年度から全市町で登録が可能となったため、再度、各市町防災担当者と調整をし、特定疾患の新規・更新等の申請時に啓発を行い、要援護者リストへの登録支援を行った。

平成23年度災害時要援護者リスト登録者数	新規	80人
	総数	107人

- ③ 医療相談事業

難病患者等の療養上の不安の解消を図るため、難病に関する専門の医師、理学療法士等による医療相談会を実施する。

目的:身体障害を伴う神経難病患者及び家族が、病気を正しく理解し、家庭でできるリハビリテーションを学ぶことで、動作の改善や、転倒予防・介護負担の軽減等、日常生活の向上を目指す。

また、医療依存度の高い神経難病患者、家族が災害に備えて、普段から準備できるように必要な情報を提供する。

対象疾患:脊髄小脳変性症・パーキンソン病・多系統萎縮症

開催日時:平成23年12月16日(金) 13:30~16:00

内 容:講演・実技指導・個別相談

「患者・家族のためのリハビリテーション」

講師及び相談:藤田保健衛生大学医療科学部教授 太田 喜久夫氏

松阪中央総合病院 理学療法士 辻 聡浩氏

作業療法士 田中 一彦氏

松阪市安全防災課 防災危機管理室長 松田佳明氏

NPO法人 CTF松阪

参加人数:患者家族 45名 関係者 13名

(2) 特定疾患医療

難病は治療が極めて困難で長期の療養を要し、治療費も高額なため特定な56疾患を指定し、患者の自己負担を軽減し治療の促進を図る。

番号	疾 病 名	松阪	多気	明和	大台	合計
1	ベーチェット病	22	1	2	2	27
2	多発性硬化症	21	1	1		23
3	重症筋無力症	15	3	2	3	23
4	全身性エリテマトーデス	70	9	14	4	97
5	スモン	2				2
6	再生不良性貧血	18	3	5	1	27
7	サルコイドーシス	27	4	4	1	36
8	筋萎縮性側索硬化症	8	1	4		13
9	強皮症・皮膚筋炎又は多発性筋炎	81	6	7	6	100
10	特発性血小板減少性紫斑病	56	4	6	3	69
11	結節性動脈周囲炎	10	1	3	1	15
12	潰瘍性大腸炎	170	18	30	12	230
13	大動脈炎症候群	5	1			6
14	ビュルガー病	4		1	1	6
15	天疱瘡	5	4			9
16	脊髄小脳変性症	28	2	4	2	36
17	クローン病	32	2	6	3	43
18	難治性のうち激症肝炎					
19	悪性関節リウマチ	9				9
20	パーキンソン病関連疾患	177	19	24	13	233
21	アミロイドーシス	2		1		3
22	後縦靭帯骨化症	63	13	12	5	93
23	ハンチントン舞踏病	1				1
24	もやもや病（ウイリス動脈輪閉塞症）	6	2	3	1	12
25	ウェゲナー肉芽腫			1	1	2
26	特発性拡張型（うっ血）心筋症	53	7	11	7	78
27	多系統萎縮症	17			2	19
28	表皮水疱症					
29	膿疱性乾癬	3		1	1	5
30	広範脊柱管狭窄症	9		2		11
31	原発性胆汁性肝硬変	36	5	11	2	54
32	重症急性膵炎	2				2
33	特発性大腿骨頭壊死症	15	2	2	3	22
34	混合性結合組織病	11		3	3	17
35	原発性免疫不全症候群	3				3
36	特発性間質性肺炎	10				10

37	網膜色素変性症	25	2	5	3	35
38	プリオン病	1		1		2
39	原発性肺高血圧症		1			1
40	神経線維腫症	2				2
41	亜急性硬化性全脳炎					
42	バッド・キアリ(Budd・ Chiari) 症候群					
43	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	1				1
44	ライソゾーム病 (ファブリー病含む)					
45	副腎白質ジストロフィー					
46	家族性高コレステロール血症 (純接合体)					
47	脊髄性筋萎縮症					
48	球脊髄性筋萎縮症	2				2
49	慢性炎症性脱髄性多発神経炎	3		1		4
50	肥大型心筋症	7		4		11
51	拘束型心筋症					
52	ミトコンドリア病	1				1
53	リンパ脈管筋腫症 (LAM)					
54	重症多形滲出性紅斑 (急性期)					
55	黄色靱帯骨化症	2	1	1	1	5
56	間脳下垂体機能障害	10		1	1	12
	合計	1,045	112	173	82	1,412

3 原子爆弾被爆者健康管理

原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律により、被爆者からの申請により被爆者健康手帳の交付を行う。健康手帳所持者には医療の給付、健康管理のための定期及び申請に基づく健康診断を実施し健康の保持について指導している。また、健康手帳所持者で原子爆弾の傷害作用に起因する負傷または疾病の状態にある者、介護を受けている者に対し各種手当での支給を行っている。

(1) 市町別原子爆弾被爆者手帳所持者及び各種手当受給状況

(平成24年3月31日現在：人数)

区分 市町名	手帳 交付数	各種手当受給者数					
		医療特別 手当	健康管理 手当	保健手当	家族介護 手当	介護手当 (重度)	葬祭料
松阪市	39	1	31	1	1	0	1
多気町	1		1				
明和町	1		1				
大台町	3		3				
合計	44	1	36	1	1	0	1

・葬祭料については、平成23年度支払い件数

(2) 原子爆弾被爆者定期健診状況

(平成23年度実績：受診人数)

区分 市町名	定期健康診断				申請による健康診断					
	第1回		第2回		健康診断		がん検診			
	一般	肝機能	一般	肝機能	一般	肝機能	胃 (直接)	肺 (X線)	大腸	多発性 骨髄腫
松阪市	18	18	15	13			2	3	2	2
多気町	0	0	0	0						
明和町	1	1	1	1						
大台町	2	2	2	2						
合計	21	21	18	16			2	3	2	2

4 健康づくりの推進

(1) 健康づくり活動の推進

- 健康づくり・保健予防活動をヘルスプロモーションの視点から見直し、再構築し、新しく展開する。
- 総合行政、地方分権、健康まちづくり、ユニバーサルデザインの視点からコミュニティエンパワメントを高める。
- 特に、市町、職域、学校分野、福祉分野、NPOなどとのネットワークを重視し、協働して健康環境の確立を目指す。
- 健康情報の共有だけでなく、安全・安心の食生活、ケアコーディネーション、セルフヘルスケアシステムなどの確立を目指す。
- 松阪保健福祉事務所では、ヘルシーピープルみえ・21の活動に賛同した企業・団体等の有志の集まりである「ヘルピー協働隊」の活動を通じ、地域における健康づくりを推進する。(現在参加団体数 66団体)

① 松阪地区地域・職域連携推進懇話会

地域と職域が連携し健康づくりを推進することを目的に実施した。

開催日	開催場所	内 容	委員数
H23. 7. 21	松阪庁舎 大会議室	地域・職域保健の健康づくりの取組、事業所における「健康教育会」の取組、自殺予防対策などについて情報共有・交換を行った。	15名

② ヘルピー協働隊の集い

各組織・団体同士の情報交換の場として実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H24. 3. 7	松阪庁舎 大会議室	<ul style="list-style-type: none"> メンタルパートナー養成講座 「こころの声を聞いてみよう ～あなたにもできること～」 情報提供 「野菜を食べよう ～三重の特産野菜 の機能性について～」 活動報告 	36名

③ ヘルピーおでかけ隊

ヘルピー協働隊のメンバーがそれぞれの活動場面に出席し、それぞれの健康づくり活動を応援し合うことを目的として実施した。

開催日	イベント名	テーマ	協働先
H23. 6. 5	歯の健康まつり	感染症予防（手洗い実習）・ヘルピー普及啓発（栄養・たばこ）	松阪地区歯科医師会、松阪市
H23. 6. 11	シャープふれあいフェスティバル	感染症予防（手洗い実習・H I V）・ヘルピー普及啓発（栄養・たばこ）	シャープ株式会社ディスプレイデバイス事業本部
H23. 7. 5	未成年者禁煙防止キャンペーン	未成年者喫煙防止	日本たばこ産業、松阪警察、たばこ販売業組合等ボランティア
H23. 9. 11	松阪市健康フェスティバル	感染症予防（手洗い実習・H I V）・ヘルピー普及啓発（栄養・たばこ・自殺予防）等	松阪市
H23. 10. 13	コープみえ商品くらしの活動交流会	ヘルピー普及啓発（栄養・がん）	コープみえ

- ④ ヘルピー協働隊通信（メールマガジン）
健康に関する最新情報を年12回発信した。

(2) 健康食育推進事業

① 野菜フル350推進事業

県民の食生活の現状は、全ての年代で野菜摂取不足である。県民が健康的な食生活を実践できるよう1日の野菜摂取目標量を350gとし、地域の食育関係者にセミナーや健康教育を実施することで、食育関係者が地域住民に野菜摂取増加について食育活動を推進することを支援した。

ア セミナー（1回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H23. 9. 29	松阪庁舎 大会議室	講演「野菜をもっと食べよう」 話題提供「三重の特産野菜の機能性について」 情報交換「野菜をたっぷり摂るための工夫について」	30名

イ 健康教育（１回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H23. 6. 30	松阪市飯高 総合開発 センター	高齢者のバランス食について	80名

② モーニングベジ推進事業

健康的な朝食習慣の定着及び野菜摂取不足の解消を図るため、各関係機関と連携し普及啓発を実施した。

ア 健康教育（１回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H24. 1. 26	松阪市 老人福祉 センター	食育について 調理実習「卵を使わないおやつ ～野菜を利用して～」	11名

イ 各関係機関との協働イベント（４回）

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H23. 6. 5	松阪子ども支援研 究センター	歯の健康まつり	150名
H23. 6. 11	シャープ株式会社 ディスプレイ デバイス事業本部	シャープふれあいフェスティバル	150名
H23. 9. 11	松阪市民会館	松阪市健康フェスティバル	300名
H23. 10. 13	華王殿	コープみえ商品くらしの活動交流会	300名

③ 給食施設指導

ア 給食施設巡回指導

	管内給食施設数	指導数
① 知事指定施設	6	6
② ①以外の特定給食施設 (※学校再掲)	93 (38)	10
③ 一般給食施設 (※学校再掲)	79 (22)	11 (0)
計	178 (60)	27 (0)

イ 給食施設集団指導（5回）

開催日	対象者	内 容	出席者数
H23. 7. 6 10. 17 H24. 1. 23 3. 13	市町保育所給 食栄養管理 担当者	食物アレルギー対応手順の見直し 非常時対応マニュアルの見直し 情報交換・共有	延べ 15名
H23. 7. 8	松阪市立 保育園長	保育所給食について	24名

ウ 給食施設従事者研修会

給食施設従事者の資質向上を図ることを目的に実施した。

開催日	開催場所	内 容	出席者数
H24. 2. 29	松阪庁舎 大会議室	講演「給食施設における災害への備え ～平常時の活動について～」 情報提供「非常食を選定するポイント」	70名

④ 人材育成・支援事業（地区組織育成支援）

ア 研修会支援

回数	延会員数
3回	60名

イ 理事会への助言

回数	延会員数
14回	84名

⑤ 人材育成・支援事業（市町栄養士支援）

市町栄養士の資質向上と栄養改善施策の充実を目指し、必要に応じて助言・指導を実施した。

連絡調整会議

回数	延参加者数
5回	29名

⑥ 栄養指導実施状況

	妊産婦	乳幼児	20歳未満	20歳以上
個別指導(延人員)	0	0	0	0
集団指導(延人員)	0	11	0	80

(3) 栄養施行事務

① 虚偽誇大広告等栄養表示相談・指導状況

	発見経路				
	住民	事業者	他グループ	他県	その他
相談・指導件数	1	7	5	0	0

(4) 調査

① 県民健康・栄養調査実施状況

三重の健康づくり推進条例第 11 条に基づき、県民の身体の状態、栄養摂取量及び生活習慣の状態を明らかにし、県民の健康の増進の総合的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的に実施した。

地区名	年月日	実施世帯数	内容
松阪市嬉野野田町	平成23年 10月25日～ 12月15日の間	22	① 身体状況調査 ② 栄養摂取状況調査 ③ 生活習慣調査
松阪市法田町		17	
多気町片野		19	